



2017-2018年度  
国際ロータリーのテーマ

## ロータリー： 変化をもたらす

R I 会長  
イアン H. S. ライズリー

第2720地区ガバナー 永 田 壮 一  
第2720地区ガバナーエレクト 高 山 泰 四 郎  
大分第3グループガバナー補佐 荒 金 信 治

### 第2720地区 大分第3グループ 別府東ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日 12時30分  
例会場：杉乃井ホテル  
ホテルサンバリアアネックス  
事務所：別府市西野口1番1号  
〒874-0931 (青山通りビル3階)  
TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
E-mail: jigoku@beppuhigashi-rc.jp  
http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 長野 勝行 幹事 久保田高史

VOL. 39—No. 46 2018年6月21日

## 第1874回例会

公共イメージ委員長 瑞木 一博



紫陽花 自宅庭

“歴史と伝統を継承し、  
活動的なクラブにしよう”  
別府東RC 会長テーマ

### —ロータリー親睦活動月間—

- 点 鐘 12時30分
- ロータリーソング 君が代・それでこそロータリー
- 唱 和 四つのテスト  
言行はこれに照らしてから  
1. 真実か どうか  
2. みんなに公平か  
3. 好意と友情を深めるか  
4. みんなのためになるかどうか
- ビジター 藤井富生 (大分城西)
- ゲ ス ト  
中島 雄一氏 ((公社) 別府青年会議所 第43代理事長)  
足立 大介氏 ((公社) 別府青年会議所 専務理事)  
西林 勲二氏 ((株) 旅助 代表取締役社長)

### ■ 出席報告 委員長 後藤 誠一

本	会員総数	42名	ゲ ス ト	3名
	出席数	26名	ビジター	1名
日	欠席数	11名	出席率	71.43%
前々回の出席率		65.71%	修正出席率	70.27%
		100%	通算	1578回

出席規定免除(a)：荒金

出席規定免除(b)：岩瀬、幸、西、箕作

名 誉 会 員：西村

### ■ メイクアップ

事後 (第1872回例会)  
但馬 (大分臨海)

### ■ 欠 席

安部、一力、笠木、森、二宮、岡本、高橋、  
詫磨、梅津、瑞木、但馬

### ■ 会長の時間

会長 長野 勝行

今週末より2泊3日の日程で台北昇陽扶論社の社長交代式に11名で訪問して参ります。

今回は初めて訪問する会員も4名いますが、台北昇陽扶論社の歓待は想像以上だと思いますので、充分体調を整えて臨んで頂きたいと思います。

今回の訪問では、交流もさることながら、もう1つ大きな使命があります。

先週の理事会でご承認頂きましたが、来年の創立40周年の記念事業を共同で行うように大枠の内容を調印するようになっていきます。

詳細はこれから順次詰めていくようになると思いますが、相互の意思確認を含めて大事なスタートだと思っていますので、しっかりと務めて参りたいと思います。

出発は明後日早朝ですので、訪問団の皆様はくれぐれも遅刻しないようにお集まりください。

## ■ 幹事報告

幹事 久保田高史

本日は「米山ランチ」を実施して米山記念奨学会へ300円×会員数=12,600円、「100万ドルの食事」を実施してロータリー財団へ2\$（1\$=110円：220円）9,240円を食事費から寄付します。皆様方のご協力をお願い致します。

### 1. RI第2720地区米山記念奨学会部門セミナー開催のお知らせ

#### 【大分開催】

日時 平成30年8月4日(土)13:30~16:00  
場所 ホルトホール大分 (☎097-576-7555)

#### 【熊本開催】

日時 平成30年8月5日(日)14:00~16:30  
場所 メルパルク熊本 (☎096-355-6311)  
\*会長・幹事・米山記念奨学委員長・カウンセラーのご出席をお願いします。

### 2. 第17回臨時理事・役員会報告 (平成30年6月19日(火)〈持ち回り〉)

#### 【審議事項】

1号議案) 工藤晴生会員退会願いの件  
\*6月30日付にて承認

### 3. 6月18日(月)17:00~フラワーショップ花精に於いて「大分第3グループ次年度会長・幹事会」が開催され、一力秀次次期会長、沼田守生次期幹事が出席されました。

### 4. 本日、11:00~ホテルサンバリーアネックスに於いて「中長期計画(40周年準備)委員会」を開催致しました。

### 5. 本日、12:00~ホテルサンバリーアネックスに於いて「新会員候補者へのインフォメーション」を開催致しました。

出席者: 長野勝行、樽谷壽生、山下布美代、山下唱徳、西 貴之、久保田高史 各会員

### 6. 別府中央ロータリークラブより例会場変更のお知らせ

RI第2720地区別府中央ロータリークラブは、2018-2019年度7月より定例会場を下記とお里変更しますのでお知らせします。メイクアップの際には、ご注意ください。尚、例会曜日・開催時間に変更はありません。

現例会場 ホテル別府パストラル

↓

新例会場 トキハ別府店7F「会議室」

例会曜日 毎週火曜日 12時30分点鐘

### 7. 例会変更のお知らせ

〇くにさきRC: 6月27日(水)の例会は『夜例会』

## ≪RI第3481地区 台北昇陽扶輪社 社長年度交代式参加訪問団の方へ≫

集合日時 6月23日(土)7:00集合 7:30出発

集合場所 ホテルサンバリーアネックス

交代式典 6月24日(土)18:00~

於台北花園酒店2F

※パスポート・上着・ネクタイをお忘れのない様にご注意ください。

サンバリー駐車場へお車を置く方は「鍵」をフロントへお預け下さい

参加者: 長野勝行、一力秀次、中塚茂次、加藤兼司、榊田 浩、竹内孝夫、沼田守生、山下布美代、尾方義顕、羽田野 徹、久保田高史 各会員

6月23日(土)

福岡10:55発 チャイナエアライン111便

6月25日(月)

福岡20:00着 チャイナエアライン116便

の為、同日19:00~ホテルベイグランド国東に時間変更

○別府RC: 6月29日(金)の例会は『会長・幹事退任慰労会』の為、同日18:30~かなわ荘に時間・場所変更

○杵築RC: 6月29日(金)の例会は、定款第8条第1節により『休会』

### 8. 次週(6月27日)の例会予定

「会長・幹事・ガバナー補佐慰労会」

※次週は、6月27日(水)18:30~ホテルサンバリーアネックスに開催日時を変更して開催します。

お間違えのない様にご注意ください。皆様方の多数のご参加をお願い致します。

### 9. 本日の回覧

①「会長・幹事・ガバナー補佐慰労会」出・欠席(6月27日(水))

②中津中央RC週報

### 10. 本日の配布

①週報No.1873

②高田三千尋氏(大分RC)より「新老人の会」大分支部フォーラム2018のご案内

## ■ お祝い

会員誕生日 榊田 浩会員(6月23日)

夫人誕生日 笠木 恭子さん(6月21日)

梅野 一子さん(6月26日)

\*ご自宅にお花とお菓子をお届けします。

結婚記念日 久保田高史会員(6月24日)

\*ご自宅に特選豊後牛肉をお届けします。

- ニコボックス 委員長 工藤 晴生
- 大分城西RC藤井富生会員 公益財団法人すみれ学級(子供食堂+学習支援)は、6月1日に新別府病院前にある、社会福祉法人はるかぜの中に「すみれ学級4組はるかぜ教室」を始めました。学習指導は、APUのベトナム、インド、中国人学生+日本人2名でおこなっています。御支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。1口
  - 長野勝行会長 我々の仲間、工藤晴生君の復活を信じて、会員全員1口よろしくお願ひします。
  - 工藤晴生ニコボックス委員長 ニコボックス委員長を拜命し、昨年末より会員の皆様や尾方

- 副委員長に多大なご迷惑をお掛けしました。反省もふまえて10口させていただきます。
- 久保田高史幹事 本日は(公益社団法人)別府青年会議所 理事長 中島雄一様、専務理事 足立大介様、ようこそ別府東RC例会にお越し下さいました。理事長の卓話、楽しみにしています。別府東RC内のJC関係者全員1口お願ひいたします。
- 沼田守生会員 7月に当店にて夏のパナソニックフェアイベントを開催します。皆さん、お時間ありましたらお越し下さい。3口

## 別府青年会議所で学んだ事

別府青年会議所 第43代理事長 中島 雄一 氏



皆様こんにちは。

本日は別府東RCの例会に招待頂きまして、まことにありがとうございます。

諸先輩方を前に大変恐縮ではございますが、指名でございますので卓話をさせていただきます。

申し遅れました。私、公益社団法人別府青年会議所第43代理事長を仰せつかっております中島雄一と申します。

どうぞ宜しくお願いします。

2月になりますが、別府北RCでも卓話をさせていただきましたが、東RCは本当に私と青年会議所の在籍が重なっている先輩が多くいらっしゃいますので、ものすごくやりづらい部分も多くありますが最後までよろしくお願ひします。

まずは私の会社の紹介からさせていただきます。

社名を有限会社中島生花店と言いまして、南立石のほうで営業をさせていただいております。

父が開業した花屋でございまして、私は2代目になります。

父は別府RCに所属しておりまして、私よりも父の

方を知っている方も多いかもかもしれません。

是非近くをお通りの際は気軽にお立ち寄り頂ければ幸いです。

それでは別府青年会議所の紹介をさせていただきます。

私も今年、理事長を仰せつかっておりますが、事業年度は1月から12月までの1年間となっております。

毎年、その年の理事長がRCの卓話にお邪魔させていただいていると思いますので、何度か聞いた話も混じっているかとも思いますがよろしくお願ひします。

青年会議所というのは、明るい豊かな社会の実現に向け活動する20歳から40歳までの青年の団体でございます。

大分県内にも別府も含めて8つの青年会議所があり、それをまとめる大分ブロック協議会、そして九州内にある7つのブロックをあわせた九州地区協議会、その各地区をあわせた日本青年会議所とありまして、さらにJCIという形で世界各国に青年会議所はあり、その最終目標は恒久的な世界平和であります。

JCは国連関係機関以外の世界的NGOで唯一、国連ロゴの使用を許可されている組織です。

JCIは国連の認定したNGOでもあり、国連が進める重点活動項目に協調しながら、世界中で運動を展開しています。

20歳から40歳までの会でございますので、今年、40歳になる年でございます私は、青年会議所の卒業の年なのですが、40歳の卒業年に理事長をする場合のみ、次の41歳になりますが、直前理事長という

役職で、1年間長く青年会議所に所属することになります。

これは、単年度制であり理事長を2回することはほとんど無い青年会議所において、その年の理事長に直前理事長としてアドバイスをすることができる役職として正式に認められています。

私が入会したのが25歳になる年でございますので今年で入会して15年目になります。

来年まで残ることになっておりますので、最終的に16年ほど在籍させていただく予定となっております。

私が入会した当時は、私より年下のメンバーは1人しかおらず先輩たちに囲まれ可愛がってもらい本当に勉強になりましたし、成長をさせていただきました。

本日の卓話のテーマといたしまして「別府青年会議所で学んだ事」とさせていただいておりますが、青年会議所は本当に多くの学びの場でもあり、また多くの出会いがある場所でもございます。

そもそも、私が入会したきっかけは、例会や委員会に参加するより先に、別府JCにあるサッカー部の練習試合に参加したのが1番最初でございます。

別府JCにはサッカー部の他にも野球部やゴルフ、釣り、バスケットボール、ラグビーなど様々な趣味の方がいます。

私も去年までJCサッカー部のキャプテンをしておりました。

JCには野球とサッカーの九州大会、全国大会もありますし、団体競技というものは社会人になってしまうと、なかなかする機会に恵まれなくなってしまいますので、この機に、私自身の個人的な希望としては、特にサッカー経験者の方のJCへの入会をお願いし、サッカー部を強化していきたいと思っております。

長野会長は青年会議所の現役の時は野球部のキャプテンを長くされており、サッカーに関してはあまり…ですが、2011年にはJCサッカーの全国大会の実行委員長をされました。

全国から50チームが集まり盛大に行われました、特にその懇親会は久保田先輩が担当され、いまだに伝説となっております。

今現在、別府青年会議所のメンバーは今年の新入会員の5名を加え、総勢40名となっております。

大分県内の青年会議所を見ても今年初のめに佐伯青年会議所が解散の危機を迎えまして会員が1名になりました。

本当に解散寸前だったのですが、大分ブロック全体の協力もあり、現在復活して12名となっております。

また、新入会員の勧誘をするにあたり、よく聞くJCの評判といたしましては、飲み行くばかりで仕事をしなくなる等の話をよく耳にすることがあるかもしれません。

あながち間違っていない部分もありますが、私自身は全くお酒が飲めません。

ビール1杯程度で顔色が悪くなり、最悪そのままお手洗いに駆け込むことがある私には、お酒を美味しく飲める人が本当に羨ましく感じます。

最近では女性メンバーも増えてきていますし、お酒を飲めないメンバーも結構いたりしますので、お酒を飲みに行く以外の交流も盛んに行っております。

未来のロータリアンの会員増強のためにもまずはJCから入会をして、40歳で卒業してからのロータリー入会の流れも少なからずある中、是非JCの新入会員の紹介等ご協力が頂ければと思っております。

今年度、私が理事長をさせていただくにあたり、今年のスローガンとして『「挑戦」失敗を恐れぬ覚悟前に進む勇気』と挙げさせていただいております。

理事長はスローガンや所信という形で会の方向性を示しますが、事業を企画立案し実行するのは委員会で行います。

JCの事業といたしましては、実際に動いてもらう委員会として、今年は総務委員会・地域委員会・青少年委員会とございます。

その3委員会が今年の理事長所信に則り運動を展開していきます。

また、それぞれの委員会に会員交流・会員拡大・国際の役割があり、特に今年は、台湾にあります姉妹JCである、中華民国陽名山国際青年商会との姉妹締結40周年記念調印式が別府の地で執り行われます。

その日程でございますが、明後日の23日でございますして明日の22日から陽名山JCのメンバーが別府に来られます。

40年間友情をはぐくんできた歴史と共に、これから続く友情と発展的な交流をともに育んでいきます。

陽名山という場所も別府と同じように温泉が有名な場所でございますして、毎年10月に温泉祭りが行われています。

そのお祭りにてブースを1つ準備してくれるとのことなので、別府JCとして別府市をアピールする機会と場所を頂けるとのことなので、台湾の地に向かい別府市の発信をしていく予定となっております。

また、もう1つの姉妹JCである、大韓民国木浦青年会議所とは、子どもたちによるサッカーや野球などを通じた国際交流を盛んに行っております。

昨年は、残念ながら朝鮮半島情勢の問題から開催

を断念する運びとなりましたが、今年もスポーツ交流をしようとの案内が木浦JCより来ていますので、木浦JCと協議を重ね、子どもたちにそこできかできない貴重な体験をしていただければと考えております。

今年行われた事業といたしましては、4月に行われる温泉祭りにおいて、小学生を対象に募集をかけ、「みんなで神輿をつくろう会」という事業を行いました。

その目的といたしまして、神輿や祭りに触れることにより、伝統には意味や人々の想いがあり、それを守り伝えることが大切なことだと認識してもらい、さらに、それらの伝統を守っている人々とふれあうことで、自分の郷土に自信を持たせ、大人になった時に別府の伝統の良いところを対外に発信していける人材を輩出するというを目的として事業を行います。

別府市内の小学生を対象にチラシを配り、募集をさせていただき、30名の子どもたちで事前に自分たちでデザインした神輿を作り上げ、その神輿を持って湯ぶっかけ祭りのパレードに参加させていただきました。

その日は4月でしたが天候も良く、子どもたちも楽しそうにしておりました。

子どもたちを対象とした事業と致しまして、毎年行われている事業ですが5月にわんぱく相撲別府場所が開催されました。

こちらも小学生を対象とした相撲大会となっております、優勝した4、5、6年生は全国大会への切符が与えられていましたが、今年から各県学年ごとに2名となりまして、大分県内では別府の他に、宇佐、中津の青年会議所が相撲大会を行っており、宇佐、中津、別府の子どもたちから上位2名を決めるわんぱく相撲全国大会の大分ブロック予選をつい先日の6月17日に宇佐の地にて行いました。

宇佐の相撲のレベルは高いと事前に聞いていたので、どうなることかと思いましたが、4年と5年の2名が全国大会出場を決めました。

別府での予選と違い子どもたちの気合とレベルの高い勝負に会場は本当に盛り上がりました。

来月に子どもたちを連れて全国大会に行き参ります。

また毎年行われているサマースクールという子どもたち対象とした事業が昨日審議を通過しまして、大々的に告知できるようになりましたので話をさせていただきます。

今年のサマースクールは湯ぶっかけ祭りからの流れを引き継ぎながら、別府市周辺で行います。



うみたまごとアフリカンサファリで宿泊し、朝見、鉄輪、明礬などにある隠れたスポットに光を当て、別府市の隠れた魅力を探り出し、また皆さんご存知の方もいるかと思いますが、ラクテンチもお願いして使えるようになりましたので、職業体験などをしてもらいながら郷土愛を育みながら学べる事業となっております。

近々小学校にチラシを配りますので4、5、6年のお子さんがいらっしゃる方は応募して頂ければと思います。

現段階ではそのほかの事業は企画段階であるため皆様にお知らせや、報告することはできませんが、地域委員会の事業といたしましても留学生や別府市を絡めた事業を企画しております。

また、12月に開催される「べっぷクリスマス Hanabiファンタジア」は本年度で25回目を迎える別府を代表するイベントでございます。

このイベントの元になったのが、別府青年会議所の先輩方が行った事業で、子どもたちがクリスマスソングを歌った後にクリスマスプレゼントとして花火をあげたのが始まりだと聞いております。

別府青年会議所の理事長はこの「べっぷクリスマス Hanabiファンタジア」の実行委員長を毎年仰せつかっており、本年度も25周年を迎えるこのイベントを盛り上げていきたいと思っております。

そして、総務委員会と致しましても、役割として別府JCの認知度を高めるために、事業をより多くの市民に知ってもらうために、各メディアとの連携を図ることやホームページの充実、SNSを有効的に活用し、広報にも力を入れていきたいと思っております。

また、会の円滑な運営はもちろん、会員の資質力の向上にも総務委員会は力を入れております。

実際に私が理事長を務めさせていただいて半年が経ちましたが、本当に様々なことを学ばさせていただいております。

今年の1月8日に行われた別府青年会議所シニアクラブとの新年互例会では多くの来賓の前で理事長としての所信表明という形の挨拶がございました。

新年互例会には広瀬知事をはじめ、長野市長、

シニアクラブ会長には現役時代に九州地区会長までされた川越シニア会長、別府JCの先輩でもある衆議院議員 岩屋 毅様の4名が来賓代表挨拶をされ、そしてこちらもJCの先輩である別府商工会議所会頭 西 謙二様が乾杯の音頭を取るといふ、私の中では非常に緊張感のある中で理事長として挨拶をさせていただきました。

新年互例会が始まる前の昼食に、別府JCのメンバーと一緒に「いま勢」のウナギを食べたのですが、緊張の為か全く味がしませんでした。

食感も砂を噛んでいるように感じられあまり意識をしていないつもりでしたが、やはり相当な重圧を感じていました。その新年の挨拶も終わってしまえば食事の味も戻ってきましたし、挨拶の内容もシニアクラブの皆様にご一定の評価を頂く事が出来ました。

その中で私が学んだ事は、「失敗は成功のもと」という格言の部分ではなく、あの大阪万博の太陽の塔を作った芸術家、岡本太郎氏の言葉にあるのですが『むしろ「成功は失敗のもと」と逆に言いたい。その方が、この人生の面白さを正確に言いあてている。』との言葉が頭をよぎりました。

人は成功体験を重ねると、物事に慣れてしまい進歩しなくなるのではないかと私は感じ、初心を忘れずより身を引き締めようと心に決めました。

今回の卓話が、皆様にとっても良きものであるように、私も今日に向けて考えてきてまいりましたが、青年会議所には「奉仕・修練・友情」3信条と言うものがございまして、この中にある修練という部分において、この卓話が私にとって成功・もしくは失敗であることにかかわらず、自らの修練として勉強をさせていただいております。

私自身といたしましては、別府JCに15年間在籍しておりますが、特に青少年事業の思い入れが深くございます。

毎年サマースクールという形で小学生を対象に事業を行っております。

子どもたちの参加人数は大体は40名から50名ほどですが、事業を企画立案するにあたり、学校で行う修学旅行などとは違う青年会議所でしかできない青少年事業を毎年行っております。

子供たちの安全にも気を使いながらも多くのことを学んでもらうために、委員会メンバーが意見を出し合い、準備に準備を重ねていき本番を迎えます。

青少年の委員会主導で行いますが、全体事業ということで別府JCメンバー全員の力を借りながら、また、ボランティアとしてAPUや別府大学の学生にも協力頂きながら、大体は2泊3日の行程ですが、1日が終わるたびに反省会を行い、青少年の委員会メンバーは次の日の確認と準備に追われ、ほぼ不眠不休の3日間を過ごします。

自分が入会してからですが、久保田先輩、沼田先輩、そして長野会長も青少年の委員長をされて、それぞれのサマースクールを行っております。

久保田先輩が行った屋久島でのサマースクールは自分が入会した次の年でした。

本当に暑い中やっておりますと軽い熱中症のような症状になりまして、テントで休んでいると青少年の委員会メンバーが休んでるとは何事だものすごく怒られたのを覚えております。

見られるかどうかかわからないと言われていたウミガメの産卵も運よく見る事が出来ました。久保田先輩が産卵中のウミガメの上に立って怒られていました。

沼田先輩のサマースクールにも参加してございまして、香々地の青少年の家で行われました。

沼田先輩がメンバーに押されて海の中に落とされたのを強烈に覚えております。

愛されているからこそと思いますが、本人は携帯が壊れて怒ってました。

また、長野会長が行ったサマースクールも本当に記憶に残っております。

別府の山の一部を切り開いてキャンプ地を作り、子供に2泊3日過ごさせました。

本当に何もなくてございまして、初日朝のテントの搬入、テント1つ30キロありまして猫車を用意してもらったんですが、田んぼ道を通れず10個ぐらいを手で運びました。

また、五右衛門風呂を作るために水を汲んで運んだのも覚えております。

これも1つ30リットルぐらいを水場から100メートルぐらいですが何往復したか覚えてないぐらい運びました。

それでも事業が終わった後の子どもたちの笑顔と疲れと充実感と、また、こうしておけばもっと良いものができたのかもしれないとの後悔、協力して頂いたみんなでの感謝などいろいろな感情に襲われ、涙が溢れてきたことを思い出します。

青少年事業にかかわらず、本当に苦労して達成した事業の後、また、40歳のJC卒業式において、最後の卒業生の言葉を話す時に涙が溢れ出てくる。そのような団体を私は他に知りません。

最後になりますが、私自身、この別府青年会議所に入会し、様々な人と出会い、そして貴重な体験を積むことができていると感じています。

楽しいところは人は集まるといいますが、自分が楽しまない、人を楽しませることは出来ないとの私のモットーをもとに、私自身が誰よりも楽しみながら12月の任期が終わるまで若者らしく失敗を恐れず挑戦し続けます。

ご清聴ありがとうございました。